

第22回 隠岐後鳥羽院短歌大賞 選考結果

本大会も22回を迎え、この度は、全国から1,485首のご投稿を賜りました。
 多くのご投稿をいただき、ありがとうございます。
 厳正なる選考の結果、次の皆様が入賞・入選・佳作に選ばれました。
 受賞された皆さまにおかれましては、誠にありがとうございます。

短歌部門 入賞

大賞	この島はみどり色だと言う幼なわが腕からびよんと弾けて	大阪府高槻市	寒川 和恵
三枝昂之選 特選	忘れられ忘れて人は生き継ぎぬ 下弦の月の黄色き空洞	滋賀県甲賀市	幅尾 茂隆
安田純生選 特選	病む母はローソク島の写真見てふうっと微かな息吹きかける	兵庫県川西市	木内 美由紀
海士町長賞	みどり児を抱けばゆらゆらしたくなりゆらゆらゆらゆらしながら抱く	宮城県石巻市	大和 昭彦
隠岐汽船社長賞	病む母はローソク島の写真見てふうっと微かな息吹きかける	兵庫県川西市	木内 美由紀
角川『短歌』編集部賞	宮島の土産物店人おらず犬の留守番ねこの見回り	広島県広島市南区	森 ひなこ
鳥うた歳時記賞	ままごとで居眠り役を割りふられ瞼閉じれば揺りかごのなか	埼玉県狭山市	石田 泰生
松籟賞	じつはこれに乗りたかつたと公園のブランコを漕ぐ妻八十歳	大阪府吹田市	出口 政春

短歌部門 各選者賞 一般の部

◎三枝 昂之 選

特選	忘れられ忘れて人は生き継ぎぬ 下弦の月の黄色き空洞	滋賀県甲賀市	幅尾 茂隆
準特選	この島はみどり色だと言う幼なわが腕からびよんと弾けて	大阪府高槻市	寒川 和恵
入選	春の日のムンクも埴輪も口開けてムンクは悲し埴輪は楽し	大阪府吹田市	出口 政春
入選	利根川の静かに澄みて少年のオール真つ赤に夕日を掬ふ	千葉県香取市	奥村 利夫
入選	みどり児を抱けばゆらゆらしたくなりゆらゆらゆらゆらしながら抱く	宮城県石巻市	大和 昭彦
入選	日だまりに子等数人のひそひそと何か決めてる土曜日の午後	長野県長野市	五味 竹子
入選	あなたにはあなたの海がありましたわたしはあなたの海を見てみた	宮城県石巻市	大和 昭彦
入選	米寿こす四人の友が集まれば語り手ばかり聞き手はおらず	神奈川県横浜市青葉区	武市 治子
入選	時化の日は網の修理の漁師小屋籠もる日今日ではや一週間	愛知県丹羽郡扶桑町	清水 将一
入選	子の名さへ忘れし母が経を読む一語たりとも違へずに読む	神奈川県川崎市多摩区	鈴木 経彦
入選	じつはこれに乗りたかつたと公園のブランコを漕ぐ妻八十歳	大阪府吹田市	出口 政春
入選	整然と牡蠣棚並ぶ松島は波静かなり復興進む	栃木県鹿沼市	染宮 千美
入選	テレワークの合間か幼を肩にのせ髭の男が夕雲仰ぐ	東京都中野区	武藤 昭彦
入選	きらきらと一直線に白き水脈日本海へと漁船は勇む	熊本県天草市	坂本 タカホ
入選	隠岐の海へ散骨たのむと言ひをりし友は逝けどもコロナが拒む	島根県江津市	藤井 幹雄
入選	夕陽に若き牛飼ゆるゆると語るが如く隠岐の島唄	石川県金沢市	上嶋 ミイ
入選	それぞれに師のつく仕事にはげみいる三人の子も五十代なり	東京都板橋区	岩崎 幸子
入選	ただ歩くだけの日課の刈田道視野は日に日に枯れゆくばかり	三重県津市	奥山 功
入選	ウイルスにかかわりのなき夏の水たっぶり吸いて瓜艶めける	千葉県勝浦市	里見 絹枝
入選	赤壁を歓声高くのぞき込む夫のベルトを強く引っ張る	茨城県常総市	太田 きみ子
入選	ままごとで居眠り役を割りふられ瞼閉じれば揺りかごのなか	埼玉県狭山市	石田 泰生
入選	配されて八百年の歳月を慕ひ続ける隠岐の人々	千葉県松戸市	窪田 文雄
入選	女子会は月山仰ぐ「あけびの間」今が大事と笑ひはじける	山形県鶴岡市	富樫 桂子
入選	島人を見守るようにローソク岩希望の光灯して暮れる	山口県防府市	竹重 恵美子
入選	暮れはやきくりやに切り口たしかめて金糸卵をほそく刻みぬ	大阪府豊中市	筒井 眞智子
入選	宮島の土産物店人おらず犬の留守番ねこの見回り	広島県広島市南区	森 ひなこ
入選	旅に訪い牛突き眺めし隠岐の空青々と澄み夫若かりし	滋賀県長浜市	中村 千恵子
入選	見上げれば空一杯の鰯雲大漁節が聞こえてきそうな	岐阜県多治見市	加藤 富美恵
入選	耳元でゆれる真珠のピアスから修道院の鐘の音かすか	兵庫県小野市	和田 真由
入選	やわらかき初冬の陽ざし奥にのび朝食のパン老女待ちおり	岐阜県高山市	瓜田 民子
入選	素潜りであわびおこしの漁をする隠岐の海士には移住者もある	滋賀県大津市	船岡 房公
入選	理髪屋の鏡にいたく日焼けせるわが顔ありて九月の終はる	高知県須崎市	徳永 逸夫
佳作	カーテンに洗濯物の影ゆれてどこにも行かぬ一日が過ぎる	長崎県大村市	佃 美智子
佳作	すれ違ふライトに車窓の雨粒が小さな銀河の光を発す	山口県宇部市	藤井 重行
佳作	夕日へと向かう海原はるかなる光の道を隠岐へと帰る	秋田県大仙市	鈴木 仁
佳作	初任地の菅島の子ら思ひ出す届けられたるささえ焼きつつ	三重県桑名市	流 石
佳作	まったりと煎茶一滴の小宇宙もみじ若葉のはららぐ庭に	広島県呉市	石田 操子
佳作	ただひとつ買ひし白桃いもうとと分け合ひて食む茂吉となりて	山口県下松市	濱田 道子
佳作	一筆を惜しみ残して応召す画学生の絵は未完にあらず	福岡県春日市	岡嶋 玲宝
佳作	美保関の汀に立ちて上皇の隠岐島への船出を想う	東京都中野区	武藤 昭彦
佳作	おい鏡もって真面目にやらんかよ俺はそんなに老けてはないぞ	静岡県浜松市南区	大庭 拓郎
佳作	花嫁を今か今かと待つ人とライスシャワーを待つ雀かな	愛媛県松山市	秋本 哲
佳作	堀越しに枝垂れて咲ける白萩の花静かなる敷島の秋	埼玉県深谷市	強瀬 忠昭
佳作	あれこれと喜怒哀楽の付き纏ふ七十路といふだらだらの坂	大分県豊後大野市	菊地 孝也

佳作	菊の花一輪そなえ手を合わせまだまだ先を生きると願う	長野県長野市	五味 竹子
佳作	この島に踊る人らのかざす手がおいでおいでと海島まねく	青森県八戸市	木立 徹
佳作	今度また「泊りの仕事」と母の言う二泊三日のショートステイを	岐阜県飛騨市	横山 美保子
佳作	ああ赤きポインセチアに酔う時がまたやって来た令和二年も	三重県津市	樋田 由美
佳作	濁流に生活ごつそり奪はれし民人偲ぶ寒夜の月に	熊本県八代市	太江田 妙子
佳作	戦争をする大人たち限界に挑む方法間違えてます	北海道瀬棚郡今金町	越野 誠
佳作	弟の茶毘を終えれば飛魚の一尾どこまでもフェリー追いかける	山口県光市	永井 すず恵
佳作	二十年経ちて友より電話あり昔の呼び名に島根を偲ぶ	兵庫県たつの市	斉藤 わこ
佳作	をさな兒にあとじふろくねんと言ひきかす投票箱の口を覗かせ	埼玉県所沢市	佐久間 敬喜
佳作	お尻振り少年が漕ぐ自転車は枯葉巻き上げ木立に消えぬ	山口県岩国市	田中 千佳子
佳作	海鳴りの赤壁削る歳月に遠流の御門いかに忍ばむ	東京都新宿区	貞住 昌彦
佳作	黙きなれし汽笛響かせ湾に入り近づくフェリーの姿頼もし	島根県隠岐郡隠岐の島町	永海 千春
佳作	黙々と土を労ひ耕せる老いし背中を入り日の包む	大阪府吹田市	河邊 幸子
佳作	八百杉はどれほど祈り聴いたのか千歳を越えただ黙して	大阪府羽曳野市	凜 七星
佳作	波あるも鳥の子供等磯あそび並んだお尻丸くぬれてる	京都府京都市北区	松原 勝子
佳作	綿虫がふわふわ飛び交う冬の朝十八年の介護解かれる	京都府亀岡市	野々村 与志美
佳作	しのめの虹色とけてまざりあいうつるさぎなみかがやくなぎさ	東京都立川市	自見 旅人
佳作	島に生れ島より知らぬ老漁夫は利尻昆布を背負ひ来て干す	北海道札幌市東区	藤林 正則

◎安田 純生 選

特選	病む母はローソク島の写真見てふうっと微かな息吹きかける	兵庫県川西市	木内 美由紀
準特選	牛も田も売って酒のみ他人様に夫は迷惑のこし逝きたり	長崎県北松浦郡佐々町	山本 久子
入選	日だまりに子等数人のひそひそと何か決めてる土曜日の午後	宮城県石巻市	大和 昭彦
入選	あなたにはあなたの海がありましたわたしはあなたの海を見てみた	長野県長野市	五味 竹子
入選	子の名さへ忘れし母が経を読む一語たりとも違へずに読む	宮城県石巻市	大和 昭彦
入選	じつはこれに乗りたかつたと公園のブランコを漕ぐ妻八十歳	神奈川県川崎市多摩区	鈴木 経彦
入選	すれ違ふライトに車窓の雨粒が小さな銀河の光を発す	大阪府吹田市	出口 政春
入選	恋人に編んだマフラー失敗しジジにくれると家に置き行く	山口県宇部市	藤井 重行
入選	茅花抜き綿菓子だよと食べあった三才頃のトシちゃんとおぼく	東京都大島町	吉本 雄二
入選	テレワークの合間か幼を肩にのせ髭の男が夕雲仰ぐ	広島県廿日市市	中島 義夫
入選	私ってホントにお気楽者なんだ 昨日あんなに悩んでいたのに	東京都中野区	武藤 昭彦
入選	おい鏡もっと真面目にやらんかよ俺はそんなに老けてはないぞ	新潟県佐渡市	関根 恵津子
入選	宇和海に浮かぶ小島の魚屋に並ぶノルウェー産のサーモン	静岡県浜松市南区	大庭 拓郎
入選	それぞれに師のつく仕事にはげみいる三人の子も五十代なり	愛媛県八幡原市	三浦 将崇
入選	この島に踊る人らのかざす手がおいでおいでと海島まねく	東京都板橋区	岩崎 幸子
入選	今度また「泊りの仕事」と母の言う二泊三日のショートステイを	青森県八戸市	木立 徹
入選	行き先は決まっているのか野良猫はつんと首上げ雪道をゆく	岐阜県飛騨市	横山 美保子
入選	帽子から溢るる髪の写真見せ禿頭の吾懸命の弁	北海道札幌市南区	後藤 明美
入選	この島はみどり色だと言う幼なわが腕からびよんと弾けて	千葉県松戸市	細田 佳道
入選	ままごとで居眠り役を割りふられ瞼閉じれば揺りかごのなか	大阪府高槻市	寒川 和恵
入選	白菜の葉の間に入りて雨蛙は朝の寒さをしのいでいたり	埼玉県狭山市	石田 泰生
入選	おもいでを作るつもりでやってきたふたつの影が岬に伸びる	岐阜県大垣市	井上 清一
入選	お尻振り少年が漕ぐ自転車は枯葉巻き上げ木立に消えぬ	大阪府池田市	黒木 淳子
入選	宮島の土産物店おらず犬の留守番ねこの見回り	山口県岩国市	田中 千佳子
入選	笛吹き宮に銀杏葉降りしきる瀬音のような楽をもたない	広島県広島市南区	森 ひなこ
入選	大阪から島に嫁いで幸せよ宿のおかみはあははと笑う	京都府亀岡市	近藤 信子
入選	コーヒーが来るまでの間がもてなくて余計なことをどもりながら言う	島根県邑智郡邑南町	石橋 由岐子
入選	ようやつと五ミリの雨を吸いし朝嬉しそうでもなしモロヘイヤ	山口県光市	松本 進
入選	北風に背中を向けて百歳の母のショールを掛け直しをり	静岡県浜松市北区	山田 文好
入選	身に余るものを持ちしか白妙のかしわばあじさい雨に傾く	愛媛県松山市	井上 由美子
入選	ローソンの箸袋だね本土からの君の手紙にはさまってたよ	福岡県福岡市早良区	塩田 直子
佳作	舟唄をうたひみし爺もみずなりて爺の使ひるし舵棒のこる	島根県隠岐郡海士町	榑原 有紀
佳作	島民に救助されたる特攻兵島に尽して骨埋めけり	宮城県石巻市	大和 昭彦
佳作	海風が秋の気配を送り来る島の大杉夜毎鳴らして	神奈川県川崎市	鈴木 経彦
佳作	カーテンに洗濯物の影ゆれてどこにも行かぬ一日が過ぎる	愛知県半田市	稲葉 游遊子
佳作	幼児は仏を見詰め手を丸く合わせ小声でポケモン買って	長崎県大村市	佃 美智子
佳作	佐渡島よりの八珍柿とふそれだけで貰う貰うと手を出しし吾	神奈川県横須賀市	佐藤 榮一
佳作	初任地の菅島の子ら思ひ出す届けられたるさぎえ焼きつつ	新潟県小千谷市	関 泰邦
佳作	餌が着けば五個の花びら咲きそろい子つばめ達のにぎやかな声	三重県桑名市	流 石
佳作	週一度二種の肥料が効いてきて笑顔のようなロシアひまわり	兵庫県加東市	土肥 可越里
佳作	家ごとに盆提灯の下がりみてここよここよほのかに照らす	徳島県阿南市	森岡 政子
佳作	抱きしめてやりたい思いこみ上げてなお声高く叱るせつなさ	長崎県島原市	下岸 桐子
佳作	ホームにて「瀬戸の花嫁」唄うたび泣く嬸あり故郷を思うと	兵庫県豊岡市	汀 真終
佳作	半袖で草抜きをれば無防備の婆さまと見て侮るか蚊は	広島県呉市	川崎 百合枝
		福岡県三潴郡大木町	中村 久恵

佳作	花嫁を今か今かと待つ人とライスシャワーを待つ雀かな	愛媛県松山市	秋本 哲
佳作	岩倉の乳房杉に願いしは乳房喪失せし娘の術後	青森県青森市	高橋 圭子
佳作	赤壁を歓声高くのぞき込む夫のベルトを強く引っ張る	茨城県常総市	太田 きみ子
佳作	雨上りおもてに出るとカラス居ておはようと言ひ飛び立って行く	神奈川県横浜市青葉区	武市 治子
佳作	つなぎ着た五歳の男の子に曳かれゆく黒き隠岐牛重さは一トン	山形県酒田市	村上 秀夫
佳作	女子会は月山仰ぐ「あけびの間」今が大事と笑ひはじける	山形県鶴岡市	富樫 桂子
佳作	浦島をのせたるやうな春の雲沖へ沖へと影ただよはず	京都府城陽市	近藤 好廣
佳作	尼子に付き毛利に従きし我が先祖からくも生きて今は百姓	鳥取県米子市	大下 秀子
佳作	当り前に日々の過ぎゆきふたたびを会えない人の増えてゆくなり	京都府京都市伏見区	三上 まさる
佳作	大雪の朝あたたかく鉢植えの葉牡丹につく青虫ふとる	島根県江津市	宮里 勝子
佳作	大木に新芽の伸びる夢を見て夫の病の快復信ぞ	福岡県鞍手郡小竹町	青沼 君子
佳作	画用紙に収まりきらない向日葵があの子の夏のすべてを語る	千葉県千葉市	芍 菜
佳作	三ヶ年島で勤めし若人は「行って来ます」と笑顔の船出	島根県隠岐郡海士町	永海 尚二
佳作	えびす顔で大根島のおばちゃんが「世界中から人が来ますよ」	山口県光市	山本 洋子
佳作	とり終へし柚子二百個の輝きを並べて写しさらにラインす	島根県松江市	高野 由美
佳作	両親と暮した家は今はなく新幹線が村を貫く	千葉県船橋市	斉藤 光男
佳作	島に生れ島より知らぬ老漁夫は利尻昆布を背負ひ来て干す	北海道札幌市東区	藤林 正則

短歌部門 青少年の部

◎永田 淳 選

最優秀作品	口にできぬ悲しみ抱きひんやりと林檎の皮をぶ厚く剥きぬ	星野高等学校	野城 知里
優秀作品	夢という背骨をびんと伸ばしつつ今日も夜な夜な解く赤チャート	愛知県立旭丘高校	渡邊 美愛